

香川大学大学教育基盤センター主催

2015年ノーベル物理学賞記念特別講演

ニュートリノで宇宙を観る

— 2015年ノーベル物理学賞の業績に因んで —

日時：2015年10月22日 18:00—19:30（質疑応答含む）

場所：香川大学幸町キャンパス 北4号館 1F 411講義室

講師：吉村 太彦 氏（岡山大学理学部附属 量子宇宙研究センター特任教授）

講演概要

本講演では、人類のミクロとマクロの観測手段（電磁波、ニュートリノ）がいかに発達してきて、宇宙の理解を深めたかをわかりやすく解説する。そのなかで、小柴昌俊氏と梶田隆章氏らのノーベル賞業績がもつ意義を解き明かす。

最後に、岡山大学でのチャレンジも紹介する。

吉村 太彦 氏 プロフィール

専門分野は素粒子物理学及び宇宙論。宇宙のバリオン数の研究に関して第27回仁科記念賞を受賞。カリフォルニア大学バークレイ校研究員、ペンシルバニア大学研究員、パリエコールノルマル研究員、東北大学理学部助手、高エネルギー物理学研究所助教授、同教授、東北大学理学部教授、東京大学宇宙線研究所教授、所長兼任、岡山大学教授を経て、現職。



(c) Kamioka Observatory, ICRR (Institute for Cosmic Ray Research), The University of Tokyo

アクセス

JR 高松駅から

- ・車で約5分。
- ・『ことでんバス（市民病院ループバス）』で「香川大学教育学部」または「香川大学法学部・経済学部」下車。徒歩1分。
- ・JR 高徳線で「JR 昭和町」下車。徒歩12分。

